



2025年2月4日

各位

会社名 ネボン株式会社
代表取締役社長 兼 CEO 福田 晴久
(コード番号 7985 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 堀 建二郎
管理本部長
(TEL. 03-3409-3159)

2025年3月期 通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

2024年5月10日に公表しました2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の通期連結業績予想値を修正しますので、お知らせいたします。

記

2025年3月期 通期連結業績予想値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,900	70	50	30	31.33
今回予想値(B)	7,300	20	40	10	10.44
増減額(B-A)	△600	△50	△10	△20	
増減率(%)	△7.6	△71.4	△20.0	△66.7	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	7,774	34	82	64	67.86

差異の理由

販売面に関しましては、農業用資材価格上昇等に起因する農業生産者の採算悪化に伴う設備投資意欲減退が続き、当社が主力とします施設園芸用温風暖房機の販売、施設園芸暖房工事の受注がともに減収要因となっております。

仕入・費用面に関しましては、円安進行による輸入製品仕入価格上昇や製品品質改善等の追加費用発生に伴う売上原価増加が当第3四半期連結累計期間においても継続したことが主たる減益要因となっております。

こうした各要因に対処すべく、当社は、販売費及び一般管理費の削減に注力して参りましたが、営業利益への改善効果は限定的に留まりました。

また、来期以降の家賃、諸会費の削減に向けて、本社移転の決定及び会員権等の処分を当第3四半期連結累計期間にて実施したことに伴い発生する諸費用や処分損等を特別損失へ計上しました。

これらの減収・減益要因により、本日公表しました売上高、営業利益、経常利益及び、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前年同月実績を大きく下回る結果となりました。

こうした中、当社は、農業生産者様の求める暖房機能に対して更に見合った新たな製品を当第4四半期連結累計期間内で市場投入することで、売上高の積み増しを目指しております。

併せまして、当第4四半期連結累計期間内においても、販売費及び一般管理費の、より一層の削減に引続き取組み、今期の業績改善に注力しているところではありますが、現状の市場及び為替水準等の環境下では、売上高及び利益の大幅な改善は見込まれないと判断したため、通期業績予想を上記の通り下方修正するものです。

(注)本資料における業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想と異なる場合がございます。

以 上